

地域と大学

第47号

Newsletter No.47, Education Center for Regional Development

令和5年度社会教育主事講習実施報告

地域創造教育センター長 阿部 耕也

令和5年度静岡大学社会教育主事講習は、静岡・愛知・岐阜・三重の4県から24名の受講者を迎え、無事全日程を終了しました。7月25日に始まった講習は、静岡市歴史博物館、ふじのくに地球環境史ミュージアムの視察等をはさみながら、8月19日のグループワーク成果発表会で約4週間の長丁場が締めくくられました。

本学では、教育学部にて昭和49年度から13回の講習を担当し、平成10年度からは生涯学習教育研究センター（本センターの前身）が7回担当しており、今回は21回目の講習となります。これまで同様、本センターの柱である地域人材育成事業の一環として位置づけ、各県教育委員会と連携を取りながら企画・運営を行いました。

社会教育主事講習は令和2年度から「人づくりや地域づくりに中核的な役割を担い」、「学習成果を広く社会における教育に生かす」ことを目指した新たなカリキュラムとなり、前回、令和元年度の本学講習もそうしたねらいを先取りしたプログラムとしました。

また、カリキュラム移行に合わせ、他大学と共同で『社会教育主事の養成と力量形成支援・キャリアパス形成支援に関する実証的研究』（科研費課題番号：17K04632）を実施し、講習において重視する具体的な能力等において実施大学と社会教育主事を活用する教育委員会の間に違いがあることを確認しました（活用側が最も重視する「関係者・機関等をコーディネートする力」が実施側では14項目中10位等）。今回の講習では、活用側の要望と齟齬が少ない講座・演習を目指しました。

講習では伊豆半島と結んだオンラインシンポ「人口減少地域における課題と可能性」を開催し、10年来取

り組んでいる「地域課題解決支援プロジェクト」で多くの課題が提案され、実際に大学との連携が進んでいる松崎町、南伊豆町、東伊豆町の取り組みを紹介しました。今回は台風の影響で予定した宿泊研修が中止となり、急遽ZOOMを利用したリモート演習となりましたが、受講者の皆様に臨機応変に対応いただきました。

講師陣も本学・他大学の教員、自治体行政職員のほか、地域づくりや協働を担うコーディネータ・ファシリテータを迎えこれまで以上に多様な陣容となりました。受講者アンケートを見ると講習への満足度は全般的に高く、「講習での講義」「社会教育施設での講義」「全体の運営」の各項目において「期待を上回る」「期待通り」を合わせ100%となっており、今回の講習が今後活かせるかどうかという質問に対しても、「大いに活かせる50%」「活かせる50%」と受講者全員に高く評価されています。半面、聴講のみのオンデマンド講義については「期待ほどではない17%」「その他39%」と不満が示されました。ただ、リアルタイムで交流できるオンライン講義については「期待を上回る28%」「期待通り61%」と比較的高い評価が示され、オンラインの進め方が重要であることを確認しました。

地域創造教育センターは、学生の教育プログラムである「地域創造学環部門」と地域との連携・協働の窓口を担う「地域人材育成・プロジェクト部門」「地域連携室」からなり、地域課題に対し地域の方々と協働しながら解決をはかり、そ



のプロセスの中で学生・住民双方の地域人材育成を目指していますが、社会教育主事講習はその核となる事業だと捉えています。地域創造学環は今年度から新規募集を停止し、その役割はグローバル共創科学部等に引き継がれる予定ですが、社会教育主事講習を核とし

た地域人材育成については、今後とも大学全体で継承したいと考えています。センターとして大学として、社会教育主事講習のフォローアップも充実させつつ、そうした地域人材を活用・支援し、さらにネットワークを拡げていくことを願っています。

■日程表

月日	午前		午後		夜間	会場
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40	
7月25日 (火)	10:00~10:20 開講式 ※1	10:30~12:00 オリエンテーション※1	[生涯学習概論] 12:50~16:00 生涯学習の意義 (阿部耕也・山本隆太)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	静岡市産学交流センター
7月26日 (水)	[生涯学習概論] 9:30~12:40 社会教育主事と社会教育指導者の役割 (静岡県教育委員会社会教育課)		[生涯学習概論] 13:30~15:00 生涯学習と家庭教育 (松永由弥子)	[生涯学習概論] 15:10~16:40 生涯学習情報・学習相談 (松永由弥子)	[社会教育演習] 16:50~18:20 社会教育演習 (阿部・山本)	
7月27日 (木)	[生涯学習概論] 9:30~11:00 諸外国における社会教育の歴史的展開 (菅野文彦)	[生涯学習概論] 11:10~12:40 社会教育の基本法令と社会教育行政 (文部科学省)	[生涯学習概論] 13:30~15:00 地域社会における学習支援システム (阿部耕也)	[社会教育演習] 15:10~16:40 社会教育演習 (阿部・山本)		
7月28日 (金)	[生涯学習概論] 9:30~12:40 生涯学習関連施設の役割と機能 (本多隆成)		[生涯学習概論] 13:30~16:40 生涯学習と学校教育 (猿田真嗣)	[社会教育演習] 16:50~18:20 社会教育演習 (阿部・山本)		
7月31日 (月)	[生涯学習概論] 9:30~12:40 社会教育の内容・方法と形態 (渋江かさね)		[社会教育演習] 13:30~18:20 社会教育演習 (阿部・山本)			静岡市産学交流センター
8月1日 (火)	[社会教育経営論] 社会教育施設の運営と評価 (原 義彦)		[社会教育経営論] 社会教育計画 (渋江かさね)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		静岡大学 静岡キャンパス
8月2日 (水)	[社会教育経営論] ジオパークと地域の活性化 (山本隆太)		[社会教育経営論] 社会教育の評価 (渋江かさね)	[社会教育経営論] 現代の課題と社会教育 (阿部耕也)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	
8月3日 (木)		[社会教育経営論] 社会教育の広報・広聴 (河井孝仁)	[社会教育経営論] 調査の意義と内容 (阿部耕也)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		
8月4日 (金)	[社会教育経営論] 博物館と文化活動 (金子 淳)		[生涯学習支援論] 地域課題解決・まちづくりに取り組む人材の育成と活動支援 (野島正也)	[社会教育経営論] 学習情報の提供システム (桑村佐和子)		静岡大学静岡キャンパス
8月7日 (月)	[生涯学習支援論] キャリア教育と生涯学習 (宇賀田栄次)	[生涯学習支援論] ファシリテーションの技法と地域課題 (宇賀田栄次)	[生涯学習支援論] 地域課題と地元学 (皆田 潔)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		
8月8日 (火)	[生涯学習支援論] コンパッションと対話の力 (竹之内裕文)	[生涯学習支援論] 多文化共生と教育 (宇都宮裕章)	[社会教育経営論] 社会教育施設の事業と経営 (渋川浩一)	[社会教育演習] 社会教育施設見学		
8月9日 (水)	[生涯学習支援論] 少子高齢化社会におけるDXの活用と地域活性化 (須藤 智)	[生涯学習支援論] 青少年の学校外教育の組織化 (白木賢信)	[生涯学習支援論] 協働の作り方 (飯倉清太)	[生涯学習支援論] 自然災害と防災 (小山真人)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	静岡大学 静岡キャンパス
8月10日 (木)	[生涯学習支援論] 大学の機能開放・拡充 (阿部耕也・山本隆太)		[生涯学習支援論] 人口減少地域の課題と可能性 (深澤準弥・山口一実・荒武優希)			オンライン
※2 8月14日 (月)			[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	[社会教育演習] 野外活動 (箱根の里)	[社会教育演習] 野外活動 (箱根の里)	(宿泊) 三島市立箱根の里
8月16日 (水)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		静岡大学 静岡キャンパス
8月17日 (木)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		
8月18日 (金)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)	[社会教育演習] 社会教育演習 (阿部・山本)		
8月19日 (土)	10:30~11:30 成果発表会 ※1	11:40~12:00 閉講式 ※1				

※1 開講式、オリエンテーション、成果発表会、閉講式については、オンライン配信を実施

※2 台風7号の接近・上陸に伴う交通機関の乱れ等の影響を考慮し、宿泊研修を中止し、オンラインにて演習を実施

2023年度静岡大学公開講座

静岡大学では、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より公開講座を実施しています。今年度の公開講座は下の表のとおり多彩な15講座を実施しています。

講座名【主催】	講師	日時	会場	対象	定員	講習料
中学生からの自分流ランニング (春)【教育学部】	教育学部准教授・野津一浩 走生塾・二見隆亮	4/23(日) 9:00～12:00	静岡キャンパス	中学1年生以上どなたでも	10	3,300
安心登山のための読図とナビゲーション（初級編） 【教育学部】	ブロードベンチャーレーサー・宮内佐季子 教育学部教授・村越 真	5/14(日) 9:30～16:00	静岡キャンパス 屋内外	山歩きの経験があり、地図アプリを利用して登山を楽しみたいと考える市民	30	1,700
私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回]【技術部】	技術部技術専門員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/16、7/4、9/5、 11/28、3/5(火) 13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	一般市民	10	11,000
多彩な視点から学ぶ伊豆半島の自然と社会 [全5回] 【未来社会デザイン機構】	教育学部教授・武井敦史 地域創造学環教授・太田隆之 グローバル共創科学部准教授・須藤 智 理学部准教授・徳岡 徹 地域創造教育センター教授・阿部耕也	5/24(水)、7/5(水)、 9/28(木)、11/7(火)、 2024年2/6(火) 18:00～19:30	東部サテライト ※対面・オン ライン併用開催	一般市民	20	500
子どもの「やってみよう！」を支えるために：遊びの中のリスクマネジメント【教育学部】	教育学部附属幼稚園園長・柴田知江 他 教育学部教授・村越 真	6/7(水) 9:30～11:30	教育学部附属 幼稚園園庭	小学校就学前の子どもの保護者（満2～4歳のお子様の同伴可）	20	無料
中学生からの自分流ランニング (夏)【教育学部】	教育学部教授・村越 真 走生塾・二見隆亮	7/23(日) 9:00～12:00	静岡キャンパス	中学1年生以上どなたでも	10	3,300
作って学ぶ、工学部の化学実験 【工学部】	工学部教授・植田一正 技術部技術専門職員・草薙弘樹 技術部技術専門職員・早川敏弘	7/29(土)、30(日) 14:00～17:00	浜松キャンパス	中学生・高校生 (保護者同伴可)	各回 20	無料
紅茶作りに挑戦しよう【技術部】	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	8/1(火) 13:30～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	小学生とその保護者、 一般市民	20	1,000
ゲノム解析の最前線へようこそ！ [全3回] 【グリーン科学研究所】	静岡共同利用機器センター特任助教・兼崎友 技術部技術専門職員・森内良太 技術部技術職員・村野宏樹 グリーン科学技術研究所教授・道羅英夫 グリーン科学技術研究所研究補佐員・鈴木智子 技術部技術職員・伊藤由希子	8/1(火)・2(水) 10:00～17:00 9/30(土) 10:00～11:00	8/1・2は対面 (静岡キャンパス)、 9/30はオンライン	静岡県内高校生	12	無料
静岡大学キャンパスミュージアム 公開講座2023 [全4回] 【キャンパスミュージアム】	理学部非常勤講師（ふじのくに地球環境 史ミュージアム教授）・岸本年郎 人文社会科学部教授・篠原和太 理学部准教授・石橋秀巳 技術部・宮澤俊義	10/7・21・28、 11/4(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生（中学生以下 は保護者同伴）	20	1,200 (小中 高生は 無料)
中学生からの自分流ランニング (秋)【教育学部】	グローバル共創科学部教授・杉山康司 走生塾・二見隆亮	10/22(日) 9:00～12:00	静岡キャンパス	中学1年生以上どなたでも	10	3,300
インフォマティクス変化の兆候 【情報学部】	情報学部助教・市川 淳 情報学部講師・中川恵理 情報学部講師・金 鎮赫 情報学部教授・遊橋裕泰	11/11(土) 10:35～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならどなたでも	70	無料
安心登山のための読図とナビゲーション（中級編） 【教育学部】	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元日本代表選手・ 小泉成行	12/9(土) 9:30～16:30	宇津ノ谷峠 つたの細道公園	①過去に本学開催の公開講座の初級編を受講した方（安心登山のための地図と地図アプリ活用術（初級編）を含む）、又は地形図の基礎知識がある方②登山経験者で7km程度を無理なく歩ける方③YouTubeによる事前学習（予習60分程度）が可能なる方	20	4,100
中学生からの自分流ランニング (冬)【教育学部】	グローバル共創科学部教授・杉山康司 走生塾・二見隆亮	2024年1/21(日) 9:00～12:00	静岡キャンパス	中学1年生以上どなたでも	10	3,300
第4回 邦人作品の調べ 【教育学部】	教育学部講師・服部慶子 教育学部准教授・高橋智子	2024年3/9(土) 14:00～16:00	静岡市葵生涯 学習センター	一般市民	100	無料

地域創造学環部門の上半期（4月～9月）事業報告

静岡大学地域創造学環のカリキュラムの柱となる「フィールドワーク」の授業では、地域と連携しながら地域課題の解決に取り組んでいます。

2023年度前学期は、静岡県内14箇所15のテーマで、地域の方々と交流しながら、地域の課題や資源を発掘し、課題解決のための提案や実践を行いました。

また、地域創造学環のホームページでは、各フィールドの活動紹介や2022年度の活動をまとめたフィールドワーク報告書を掲載しています。ぜひご覧ください。

【静岡大学 地域創造学環ホームページ】

<https://www.srd.shizuoka.ac.jp>

【2023年度前学期フィールドとテーマ】

フィールド	テーマ
静岡市 清水港周辺地域	清水港周辺地域が“つながる”“ひろがる”“にぎわう”活動
静岡市 庵原地区	庵原地区の地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化
静岡市 おまち	おまちを中心とした静岡市内のにぎわい創出
静岡市 浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出
焼津市 浜通り	地域住民と高校生との交流に基づいた地域づくり活動
浜松市 浜松文芸館	私のまちの文芸世界
浜松市 佐久間町	交流の輪づくり～新たな関係構築～
掛川市 田園空間博物館 南遠州とうもの里	子どもたちを呼び込むための環境づくり
御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクト～スポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進～
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立
東伊豆町	東伊豆町の新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト
伊豆半島全域（ジオパーク） ※フィールド名、テーマ変更	地域づくりとジオパーク
多世代の居場所づくり	多世代の居場所づくりと防災教育の実践
学内地域連携拠点	静大発 地域と大学の連携を広めよう！

地域創造学環2022年度フィールドワーク報告会

2023年5月25日（木）、グランシップ 会議ホール・風にて、「2022年度静岡大学地域創造学環フィールドワーク報告会」を行いました。学生たちは昨年度に活動した静岡県内14箇所、16テーマの各フィールドにおける課題点の説明や解決に向けての進捗状況について発表しました。学生の発表は、それぞれのフィールド独自のイベントを開催した報告や、小学生に地元の

魅力や地域資源を発見してもらうためにスタンプラリーを行った報告などがあり、1年間の活動を通じて、学生たちの成長がうかがえました。

今回も、フィールドワーク協力先の方々をはじめ多くの方々に会場とオンラインでご視聴いただき、「学生たちが地域の課題解決のため真剣に取り組む姿に感動した」など、温かいコメントをいただきました。



清水港周辺地域フィールド

清水港周辺地域フィールドは、清水の歴史や文化に触れながら地域コミュニティの活性化につながる機会づくりを行っています。そこで、昨年度は時間内に指定されたチェックポイントをまわりポイントを集めながらゴールを目指すスポーツ、「ロゲイニング」というイベントを企画し、昨年12月に実施しました。



【2022年度スマイルロゲイニングイベント実施の様子】

そして、今年度も12月に、ブラッシュアップしたイベント企画の実施を予定しており、7月某日、企画に協力していただける店舗の調査を兼ねた街歩きを行いました。フィールドグループメンバーは3班に分かれ、業種や客層、お店のアピールポイント、自慢の商品、当日イベントへの協力の可否などについて、各店舗の方々に伺いました。街歩きから戻った後は、それぞれのチームごとのインタビューの成果やご意見などを共有し、今後のイベントの進め方について話し合いました。地域の方からは、イベント開催にあたっては子どもたちの安全・管理を重視してほしい、11月上旬には広報用チラシを配布してほしい等の要望もありました。今後もイベント開催まで、イベント目的の再確認、具体的なチェックポイントや加点要素などの細かいルールの設定など詳細を詰めていき、昨年度の反省点を改善し、より良いイベントになるよう念入りに準備したいと考え、進めています。



【商店街でのインタビューの様子】



【街歩き後、付箋に内容をまとめ、話し合いを進める様子】

松崎町フィールド

松崎町・商店街フィールドでは、松崎高校生と地域の交流場所作りを目的とし、現在、実際に空き店舗を「地域における交流場所」として活用できるように取り組みを行っています。6月のトライアル時にはまず店内を清掃し、テーブルや椅子などの備品を配置しました。また誰でも立ち寄れるカフェをイメージとして、食器やお菓子などのセッティングも行いました。

トライアルの初日は、偶然通りかかった小学生も利用し、店内でおしゃべりを楽しんだ後、静大生が学校の宿題のフォローを行いました。また従来から一緒に活動している松崎高校生とは、簡単なゲームも行いました。

2日目には、今後の利用方法や必要な備品等について話し合いました。次回以降、棚や追加のテーブル・椅子などをどうするのかに加えて、運用方法の確定を目指していきます。



【空き店舗を地域の交流場所とするための準備】

松崎町のもう一つのグループである松崎町・観光と防災グループでは、2022年度期末の3月末日、松崎町の魅力を地元の小学生に知ってもらう取り組みとして、「まつざき魅力発見！ Webスタンプラリー」を実施しました。松崎町の主な観光スポットにスタンプ用QRコードを設置して、現地を訪問してもらうことで松崎町の魅力を体験して巡る取り組みで、このイベントは、松崎町、松崎小学校と連携していただき、スタンプラリー実施の案内チラシの配布や実施を進めました。地域の皆様からの協力もあり、イベントは盛況を収めました。

また、今年度は、松崎町の特産物の一つである「桑の葉」について調査を開始し、広報活動を進めていきたいと考えています。



【スタンプを設置する様子】

地域人材育成・プロジェクト部門の上半期事業報告

地域連携応援プロジェクト

2011年度より「地域連携応援プロジェクト」として、本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取り組もうとする地域の活性化につながる活動を学内で公

募し、支援しています。

2023年度は16件の応募があり、全てを採択しました。年度末には成果報告書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
人文社会科学部	山岡 拓也	静岡県賀茂郡松崎町に残された歴史文化遺産の展示ポスター制作事業
教育学部	川原崎 知洋	地域に潜在する価値を発見するデザインプロジェクト-大谷・小鹿地区のまちづくりを通して-
教育学部	杉山 卓也	牧之原市の部活動地域移行に向けての大学生活用事業
教育学部	高橋 智子	共生社会の実現に向けた美術作品展の企画及び実施プロジェクト：就労継続支援B型事業所との連携を通して
情報学部	杉山 岳弘	浜松市楽器博物館における楽器の3Dモデル化とVR空間における演奏体験支援事業
情報学部	遊橋 裕泰	「高校生情報・探求コンテスト」開催をとおした探求学習応援事業
理学部	徳岡 徹	植物をツールとした鉢窪山麓活性化プロジェクト
工学部	立岡 浩一	浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～（小学生児童を対象とした理科工作教室）
工学部	戸田 三津夫	佐鳴湖プラットフォーム形成支援
農学部	松本 和浩	日本一の生産量を誇る「熱海だいたい」再興に向けた産地の来歴調査と苗木生産技術、果実外商品の開発
学生支援センター	宇賀田 栄次	学生発プロジェクト～放任竹林の課題共有から地域コミュニティの形成へ～
情報基盤センター	永田 正樹	静岡県袋井市「FOL」を用いた発展的ICT学級の構築
未来社会デザイン機構	内山 智尋	住民の居場所づくりから始めるインクルーシブな地域づくりプロジェクト
未来社会デザイン機構	竹之内 裕文	松崎町で映画をつくり、地域をつくる
技術部	楠 賢司	国指定史跡二俣城跡に現存する石垣石材の岩石種調査
技術部	宮澤 俊義	静岡市葵区の駿府城周辺のクマムシ調査と科学講座の開催

地域課題解決支援プロジェクト

地域からの課題提案を受け、学生・教職員と地域住民が協働して解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も11年目となりました。本年度上半期の取り組み事例を紹介します。

東伊豆町

・地域創造学環フィールドワーク

東伊豆町では課題提案を受け、その一環として地域創造学環「東伊豆フィールドワーク」を行っており、地域住民の方々のほか、稲取高校との連携・交流をはかりながら活動を進めています。

令和4年度からは稲取高校1年生全員を大学に迎えてキャリアプログラムを実施しており、今年度も6月13日（火）に稲取高校1年生71名が本学を訪問し、講

座やワークショップに参加しました。

当日は学生支援センター・宇賀田教授による指導のもと、地域創造学環、教育学部、農学部、理学部の学生も参加し、ワークショップのファシリテーター、ミニキャンパスツアーのガイド等を行い、高校生との交流を深めました。



稲取高校1年生の本学訪問

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座 「社会を読み解く、社会を拓く」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/8 (土)	人工衛星とAIで切り開くスマート農業の未来	菌部 礼 (静岡大学農学部・准教授)	84
2	8/19 (土)	古文書から読み解く社会	松本 和明 (静岡大学人文社会科学部・准教授)	95
3	9/9 (土)	先史考古学で読み解く人類社会の発展 ～ホモ・サピエンスの誕生に遡って歴史を俯瞰する～	山岡 拓也 (静岡大学人文社会科学部・教授)	100
4	9/30 (土)	変革する情報教育 ～デジタル市民として期待されていること～	遠山 紗矢香 (静岡大学情報学部・講師)	-
5	10/21 (土)	生成系AIと自然言語処理～今できることと課題点～	狩野 芳伸 (静岡大学情報学部・准教授)	-

■会場：あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座 「探る、掘る、解く ～未来へつなぐアプローチ～」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	10/24 (火)	CO ₂ の削減&利用でCOP会議の約束草案に貢献する革新的な触媒反応技術	福原 長寿 (静岡大学工学部・教授)	-
2	11/7 (火)	浜松城から駿府城へ	本多 隆成 (静岡大学名誉教授)	-
3	11/21 (火)	生成系AIの現在、利用とこれから	狩野 芳伸 (静岡大学情報学部・准教授)	-
4	12/19 (火)	宇宙から見た大地の動きとそのメカニズム	三井 雄太 (静岡大学理学部・准教授)	-
5	1/23 (火)	金属も疲れる!? 疲れにくい金属を科学する	菊池 将一 (静岡大学工学部・准教授)	-

■会場：静岡大学浜松キャンパス附属図書館浜松分館（S-Port）3階大会議室

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

主催事業

静岡大学東部市民講座

静岡の自然と社会～県東部にスポットをあてて考える～

・日時：2023年5月27日（土）・6月24日（土）

13：00～16：15

・場所：プラサヴェルデ4階407会議室

・講習料：無料

・プログラム

5月27日（土）

①「裾野市におけるスポーツを活かした地域活性化への取り組み～水が塚公園を利用したスポーツ科学研究～」

講師：杉山康司（静岡大学グローバル共創科学部・教授）

②「地域と大学が共創する学びとコミュニティ」

講師：阿部耕也（静岡大学地域創造教育センター・教授）

6月24日（土）

③「富士山の生い立ちと麓にもたらした湧水の科学的特徴」

講師：小林 淳（静岡県富士山世界遺産センター・教授）

④「愛鷹山麓の遺跡の考古学研究で明らかにされている初期現生人類の技術と行動」

講師：山岡拓也（静岡大学人文社会科学部・教授）

・参加者数：①17名 ②17名 ③50名 ④50名

企画協力事業

令和5年度6大学連携共同講座

しずおか中部“未来学”「ポストコロナの地域の未来」

・日時：2023年8月17日（木）10:00～15:00

8月21日（月）10:00～16:00

・場所：BiViキャン（BiVi藤枝1階）

・受講料：無料

・プログラム

共同講座・合同オープンキャンパス（8月17日）

「大学での学びと自分らしさ」

講師：宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター・教授）

ワークショップ（8月21日）

「人物探求コース」

講師：阿部耕也（静岡大学地域創造教育センター・教授）他

・主催：藤枝市大学ネットワーク会議、藤枝市

令和5年度 市民大学リレー講座 「Reまなび。まなびのリスタート」

この事業は、静岡市内6大学と静岡市が主催して全6回の講座として実施するもので、このうち第1回を静岡大学が担当しました。

・日時：2023年9月15日（金）～11月17日（金）

18:30～20:00

・場所：会場受講（静岡市役所静岡庁舎3階食堂スペース「茶木魚」・葵消防署7階講堂）とオンライン受講の併用

・受講料：無料

・プログラム

①9/15（金）「高校で始まった地域づくりの学習。そのとき社会人はどうする？」

講師：山本隆太（静岡大学地域創造教育センター・准教授）

②9/22（金）「「ハザードマップをどう使うのか」を考えてみましょう」

講師：阿部郁男（常葉大学副学長/社会環境学部・教授）

③10/13（金）「次世代サービスに必要な「小さなAI」」

講師：山岸祐己（静岡理工科大学情報学部・講師）

④10/27（金）「ヒューマンエラー防止の心理学」

講師：重森雅嘉（静岡英和学院大学短期大学部・教授）

⑤11/10（金）「朱子学における「読書」論『朱子語類』を中心にして」

講師：恩田裕正（東海大学人文学部・教授）

⑥11/17（金）「微分・積分ってなに？」

講師：井本智明（静岡県立大学経営情報学部・講師）

・主催：大学連携生涯学習事業（静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、静岡理工科大学、東海大学、常葉大学）、静岡市

市民開放授業

市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2023年前学期の開講科目数・受講者数の状況は次の通りです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
17	3	20	32	10	42

（1名は両キャンパスで受講のため、静岡・浜松それぞれでカウント）

また、後学期事前説明会を両キャンパスで開催しました。

・日時：9月20日（水）14:00～15:30

・会場：[静岡キャンパス] 事務局別館1A会議室
[浜松キャンパス] 附属図書館浜松分館
(S-Port) 3階大会議室

2023年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

阿部 耕也 地域創造教育センター長

水谷 洋一 地域創造学環部門長

山本 隆太 地域人材育成・プロジェクト部門長

笠井 仁 人文社会科学部教授

渋江かさね 教育学部准教授

白井 靖人 情報学部教授

富田 誠 理学部教授

戸田三津夫 工学部准教授

江草 智弘 農学部助教

江口 昌克 グローバル共創科学部教授

山本好比古 大学教育センター准教授

藤井真貴子 地域連携推進課長

地域と大学 第47号

発行日——2023年9月27日

発行——静岡大学地域創造教育センター

編集——上田満津子

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

(事務局) 学務部地域連携推進課 ☎054-238-4056